



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 スターゼン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8043 URL <https://www.starzen.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 中津瀆 健  
 問合せ先責任者(役職名) 経理本部長(氏名) 堀畑 貴裕 (TEL) 03-3471-5521  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	171,146	△0.8	2,544	97.1	3,635	73.0	3,195	127.3
2020年3月期第2四半期	172,558	△0.9	1,291	△36.4	2,100	△24.5	1,405	△23.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,687百万円(186.9%) 2020年3月期第2四半期 1,285百万円(△40.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	327.69	—
2020年3月期第2四半期	144.32	135.66

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	131,549	54,890	41.7
2020年3月期	125,932	52,310	41.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 54,878百万円 2020年3月期 52,310百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	110.00	110.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	△1.8	5,500	30.0	7,100	22.5	5,000	186.9	512.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	9,761,276株	2020年3月期	9,761,276株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	9,407株	2020年3月期	1,899株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,751,108株	2020年3月期2Q	9,739,552株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、2020年11月27日(金)にアナリスト向けWEB決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により近年では類を見ない急速な景気の悪化が見られました。後半には持ち直しの動きがみられたものの依然として環境は厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界では、外食需要が縮小する一方で家庭内消費需要が拡大するなど、新しい生活様式の実践等で消費形態に急激な変化が生じており、新たな事業環境への対応が求められております。

食肉業界においても、各商品の調達環境、販売環境が激変するなど不確実性の高い事業環境が続きました。

このような事業環境の中、当社グループは新型コロナウイルス感染症への対応を見据えて一層の成長を遂げるための施策に取り組んでまいりました。具体的には、当社を存続会社とした販売子会社2社の吸収合併により、販売部門の集約化と機能強化、意思決定の迅速化や業務のスリム化などを図りました。また、昨年度に着手した全社的業務プロセス改革プロジェクト(Zeusプロジェクト)も継続的に推進しております。加えて、新型コロナウイルス禍においても食品を安定的に供給する責務を果たすべく、衛生管理の徹底や柔軟な勤務体制等の対策を講じるとともに、人員配置の見直し等による業務の平準化を図りお客様のご要望にお応えする体制を整えてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は171,146百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益は2,544百万円(前年同四半期比97.1%増)、経常利益は3,635百万円(前年同四半期比73.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,195百万円(前年同四半期比127.3%増)となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりです。

#### <食肉関連事業>

食肉関連事業の売上高は169,729百万円(前年同四半期比0.9%減)となりました。

また、部門別の業績は次のとおりです。

#### (食肉)

国内事業は、家庭内消費需要の拡大と外食向け業務用需要縮小の影響を強く受けた結果、取扱量は前年同四半期を下回りました。売上高は、取扱量の減少に加え外食需要、インバウンド需要の縮小に起因する国産牛肉の販売単価低下の影響もあり前年同四半期を下回りました。売上総利益は、外食需要縮小により特に輸入鶏肉で厳しい収益環境が続いたものの、家庭内消費向け商品の販売強化や国産牛肉の販売環境の改善により前年同四半期を上回りました。

また、カテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉において、取扱量は前年同四半期を上回りました。要因は、家庭内消費の拡大から国産豚肉の取扱量が増加したことが挙げられます。売上高、売上総利益は前述の国産牛肉の販売状況が影響し、売上高は前年同四半期を下回り、売上総利益は前年同四半期を上回りました。

輸入食肉において、取扱量、売上高は前年同四半期を下回りました。要因は主に、外食需要中心の輸入鶏肉が大きく販売量を減らしたことが挙げられます。一方で売上総利益は、家庭内消費向け商品の販売に注力した結果、輸入牛肉を中心に輸入鶏肉の減益をカバーし、前年同四半期を上回りました。

輸出事業は、期間前半は各国の都市封鎖や外出禁止令等の影響で、欧米向けを中心に輸出重量、売上高ともに大きく落ち込みましたが、期間後半は回復に向かいました。また、感染拡大封じ込めに成功している台湾を中心に取り組みを強化した結果、輸出全体の取扱量は前年同四半期比で伸長しました。一方で、売上高は国産牛肉の輸出単価低下の影響から微増となりました。

これらの結果、食肉部門の売上高は136,164百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。一方、売上総利益は国産牛肉の国内販売の貢献等により、前年同四半期を上回りました。

#### (加工食品)

加工食品は、新型コロナウイルス禍により、外食向けハンバーグを中心に業務用商品で厳しい販売環境となりました。一方で内食需要の拡大に対応するため、小売業向けに家庭内調理ニーズに沿った商品の販売を強化し、焼肉用キット商品等の取扱いが順調に推移しました。また、大手外食チェーン向け一部商品の取扱いも順調に推移しました。以上の結果、取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を上回り、売上高は26,837百万円(前年同四半期比3.9%増)となりました。

#### (ハム・ソーセージ)

ハム・ソーセージについても、外食向け業務用商品で厳しい販売環境となりました。コンシューマ商品の販売は

比較的堅調に推移したものの、全体では取扱量、売上高、売上総利益ともに前年同四半期を下回り、売上高は5,755百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

（その他）

その他の取扱商品につきましては、売上高は972百万円（前年同四半期比10.6%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、売上高は1,417百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、4,636百万円増加し、84,868百万円となりました。これは、主として前渡金、受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、983百万円増加し、46,671百万円となりました。これは、主として投資有価証券が増加したことによります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、5,617百万円増加し、131,549百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、1,939百万円減少し、42,755百万円となりました。これは、主として1年内償還予定の社債及び買掛金が減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、4,977百万円増加し、33,903百万円となりました。これは、主として長期繰延税金負債及び長期リース債務が減少したものの、長期借入金が増加したことによります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、3,037百万円増加し、76,659百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、2,579百万円増加し、54,890百万円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月2日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した見通しから変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,232	16,464
受取手形及び売掛金	31,999	31,384
商品及び製品	26,841	27,963
仕掛品	423	434
原材料及び貯蔵品	2,474	2,394
前渡金	7,197	5,034
その他	2,073	1,201
貸倒引当金	△9	△8
流動資産合計	80,232	84,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,078	11,814
土地	10,678	10,678
その他（純額）	6,156	6,657
有形固定資産合計	28,912	29,150
無形固定資産		
のれん	18	12
その他	828	871
無形固定資産合計	847	883
投資その他の資産		
投資有価証券	13,061	14,162
その他	2,866	2,475
投資その他の資産合計	15,927	16,637
固定資産合計	45,687	46,671
繰延資産	12	9
資産合計	125,932	131,549

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,245	14,380
短期借入金	8,208	7,972
1年内償還予定の社債	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	8,273	9,972
未払法人税等	1,219	625
賞与引当金	1,553	1,582
その他	9,195	8,222
流動負債合計	44,695	42,755
固定負債		
社債	2,100	2,100
長期借入金	22,023	27,695
退職給付に係る負債	2,010	2,024
債務保証損失引当金	—	20
その他	2,791	2,063
固定負債合計	28,926	33,903
負債合計	73,621	76,659
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,513	12,511
利益剰余金	27,516	29,638
自己株式	△9	△41
株主資本合計	51,678	53,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	900	1,471
繰延ヘッジ損益	98	16
為替換算調整勘定	△245	△252
退職給付に係る調整累計額	△121	△123
その他の包括利益累計額合計	631	1,111
非支配株主持分	—	11
純資産合計	52,310	54,890
負債純資産合計	125,932	131,549

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	172,558	171,146
売上原価	157,626	154,832
売上総利益	14,932	16,314
販売費及び一般管理費	13,641	13,769
営業利益	1,291	2,544
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	65	66
持分法による投資利益	292	552
不動産賃貸料	218	204
受取保険金及び配当金	284	204
その他	239	362
営業外収益合計	1,106	1,391
営業外費用		
支払利息	152	143
不動産賃貸費用	78	65
その他	65	91
営業外費用合計	296	301
経常利益	2,100	3,635
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	5	—
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	4	9
減損損失	47	16
投資有価証券売却損	—	49
関係会社株式評価損	—	114
特別損失合計	52	191
税金等調整前四半期純利益	2,054	3,444
法人税、住民税及び事業税	751	657
法人税等調整額	△111	△419
法人税等合計	640	237
四半期純利益	1,413	3,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,405	3,195

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,413	3,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	557
繰延ヘッジ損益	7	△83
為替換算調整勘定	△26	△13
退職給付に係る調整額	2	10
持分法適用会社に対する持分相当額	19	8
その他の包括利益合計	△128	480
四半期包括利益	1,285	3,687
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,277	3,675
非支配株主に係る四半期包括利益	8	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

当社は、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。